

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士後期課程 <一般入試>

統計学

以下の問(1)~(8)の中から5問を選び、問番号を明示した上で、それぞれ回答しなさい。

- (1) 相関係数（ピアソンの積率相関係数）の算出過程を、数式を用いずに概念的に説明しなさい。
- (2) 標準偏差と標準誤差の共通点と相違点をそれぞれ説明しなさい。
- (3) 信頼区間とは何か、説明しなさい。
- (4) 有意性検定におけるサンプルサイズ設計について、有意水準、検出力、効果量について言及しながら説明しなさい。
- (5) ベイズファクターについて、頻度論的な有意性検定と比較しながら説明しなさい。
- (6) データと統計手法を用いた分析結果の説明において、まず記述統計の報告が行われることが多いのはなぜか、2つ説明しなさい。
- (7) 因子分析は、解釈の自由度が相対的に高い分析方法と言える。どのような点で自由度が高いと言えるか、2つ説明しなさい。
- (8) 信号検出理論における4つの判定結果について説明しなさい。また、正答率だけで評価する場合と比較して、この理論を用いる利点についても述べなさい。

解 答 用 紙

試 験 科 目		博士前期課程	氏 名	受 験 番 号
	研究科	博士後期課程		
	専 攻	一貫制博士課程		
		修 士 課 程		

	合 計 点

解 答 用 紙

試 験 科 目	研究科	博士前期課程	氏 名	受 験 番 号
		博士後期課程		
	専 攻	一貫制博士課程		
		修 士 課 程		

	合 計 点